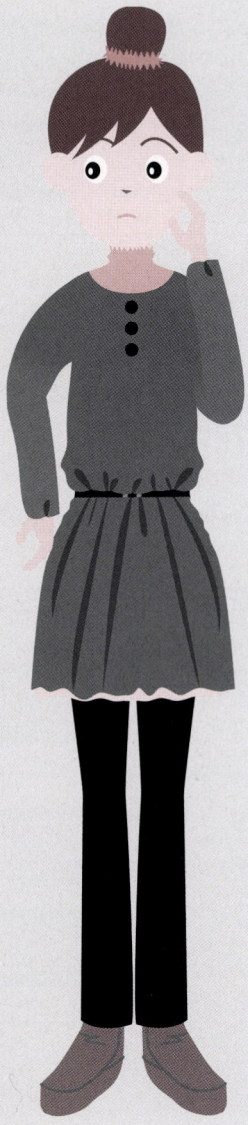
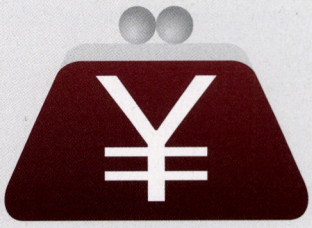
5 アルバイト・経済状況

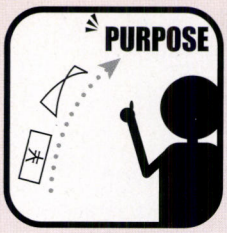
アルバイトの目的…… 42
アルバイトの目的の多くは、生活維持や身の回り費、コンパ・交際費
「生活維持」35%、「身の回り費」28.6%、「コンパ・交際費」22.9%

アルバイトと学業の関係…… 44
アルバイト収入月６万円以上の場合は要注意
「妨げにならない」は18.1%にとどまる

仕送り・小遣い…… 45
仕送り・小遣いは自宅外でも月８万円未満が大半
自宅外で「0円」13.7%、「～４万円未満」27.8%、「～８万円未満」31.8%







アルバイトの目的の多くは、生活維持や身の回り費、コンパ・交際費

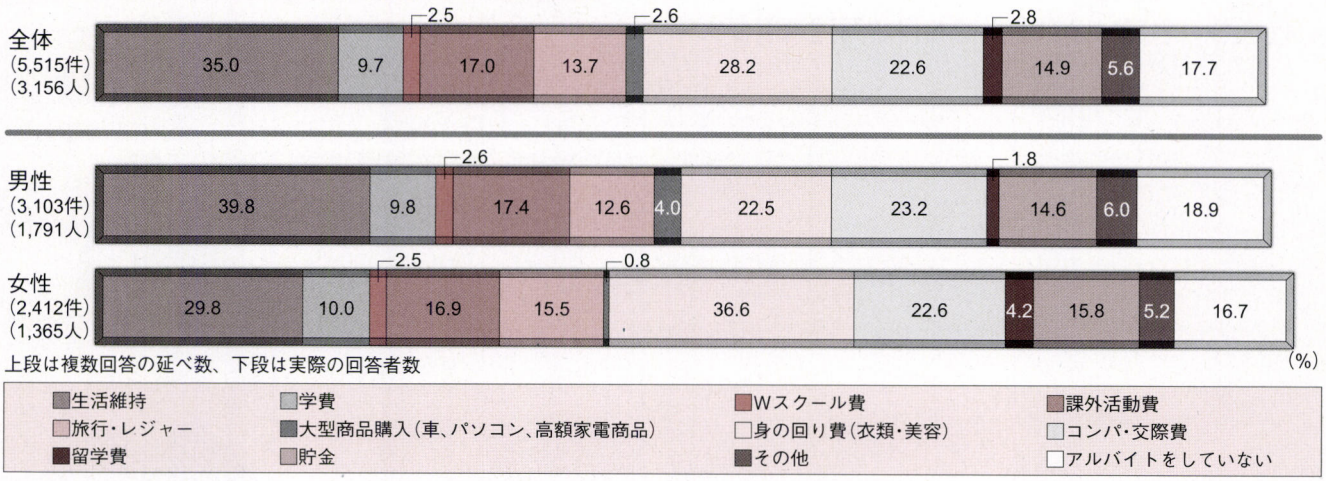
アルバイトの目的

POINT 「生活維持」35.0%、「身の回り費」28.6%
「コンパ・交際費」22.9%

アルバイト収入が学生生活も支えている様子がうかがえます。そのほかには、「身の回り費」(28.2%)、「コンパ・交際費」(22.6%)、「課外活動費」(17.0%) などの比率が高くなっています。自由記述では「社会経験」「社会勉強」などが挙げられており、金銭面よりアルバイト経験自体を重視している学生も少なくないようです。

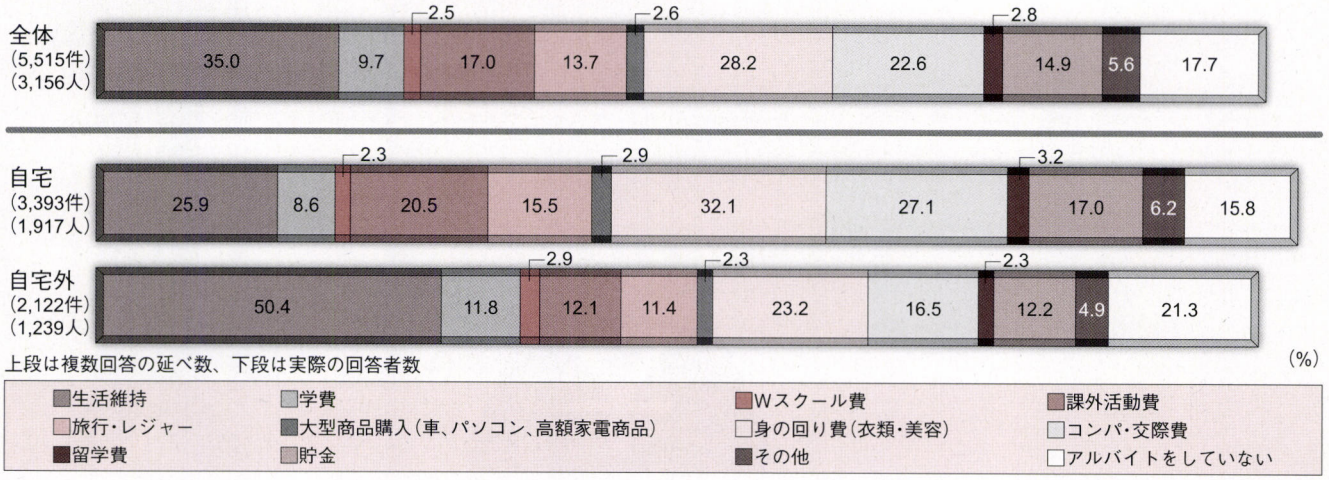
男女で比較すると、「生活維持」、「大型商品購入」では男性の場合、「身の回り費」、「留学費」では女性の場合に比率が高くなっています。

アルバイトの目的は？ [複数選択可] 男女別



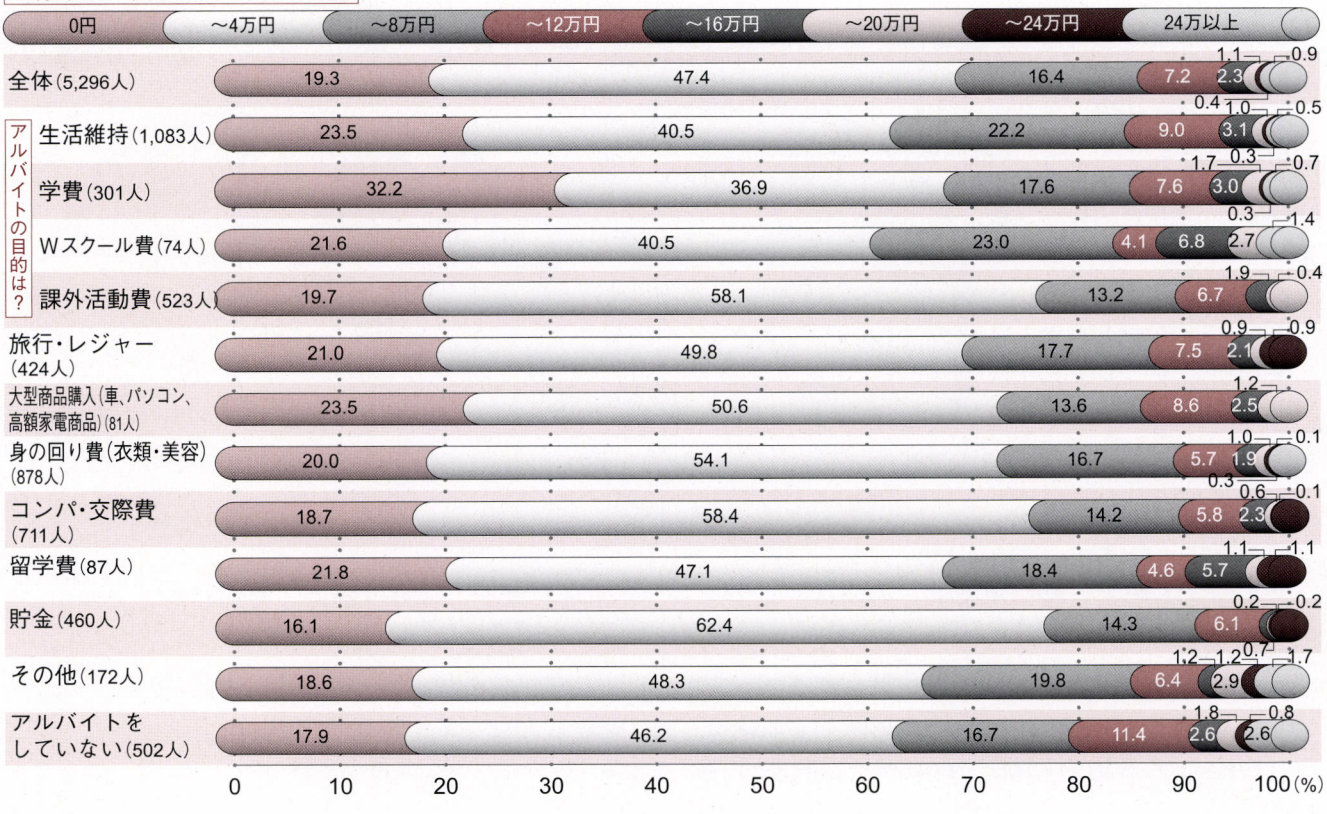
自宅と自宅外で比較すると、自宅外では「生活維持」、「学費」の比率が高く、それ以外の項目(「課外活動費」、「身の回り費」など) は自宅の場合と比べ軒並み低い比率となっています。グラフには示していませんが、アルバイト収入には自宅と自宅外で大きな差は見られません。しかし、自宅外の場合には、自由に使うことのできるアルバイト収入の範囲は限られているといえそうです。

アルバイトの目的は？ [複数選択可] 自宅・自宅外別

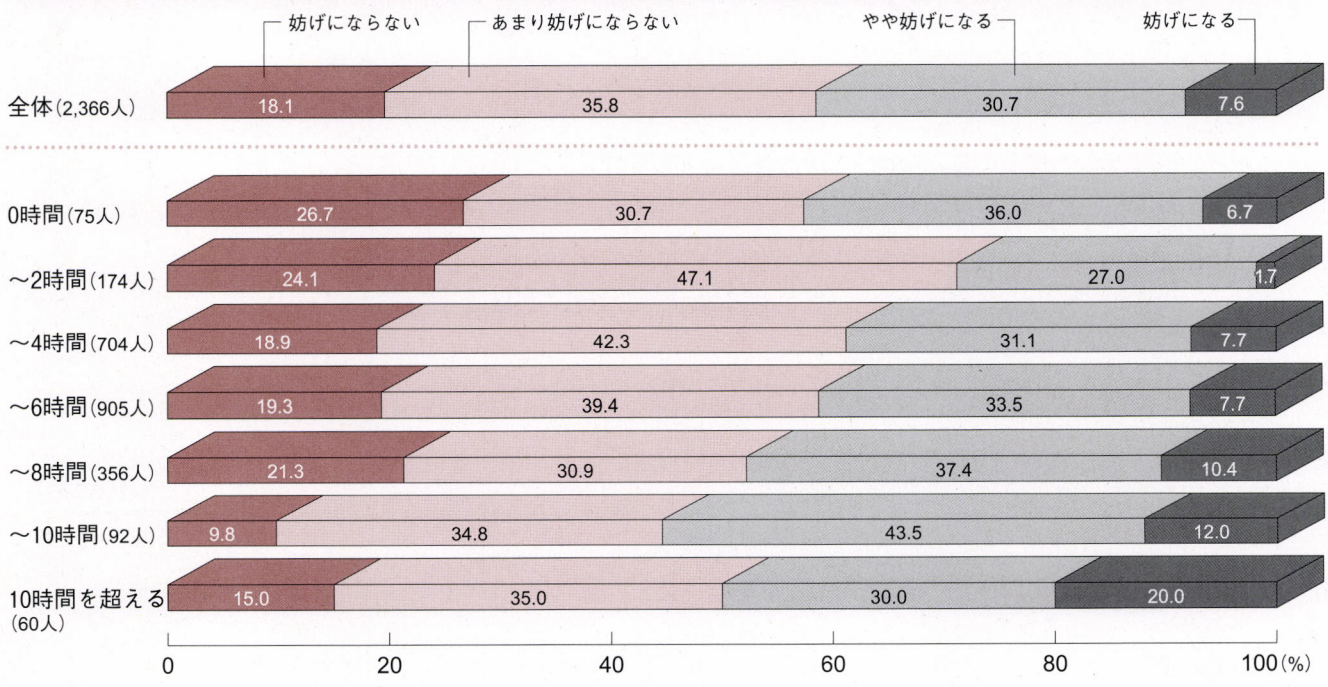


アルバイトの目的と仕送り・小遣いの関係を見ると、アルバイトの目的が「学費」の場合に、仕送り・小遣いの額が少なくなっています。またグラフには示していませんが、目的が「学費」の場合には、アルバイトの時間が長く収入が多い傾向が見られ、アルバイトが勉強の「妨げになっている」比率も高くなっています。近親者からの援助だけでは修学が困難で、学費をまかなうためのアルバイトに時間を費やさざるを得ない状況に置かれている学生もいるようです。こうした学生に奨学金等による支援の機会が十分に提供されているかどうか、チェックしていく必要があるといえます。

クロス集計　アルバイトの目的は？［複数選択可］／凡例 1カ月当たりの仕送りまたは小遣いの金額



クロス集計　授業期間中の1日あたりのアルバイトの時間／凡例 定職やアルバイトは勉強の妨げになりましたか？　または、なっていますか？



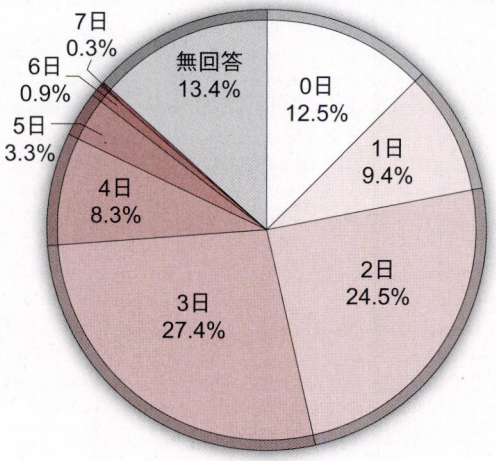
アルバイト収入 月６万円以上の場合は要注意

アルバイトと学業の関係

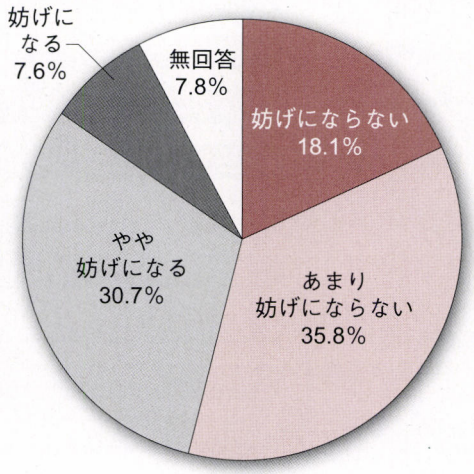
POINT 「妨げにならない」は**18.1%**にとどまる

アルバイトは学業の妨げにはならないのでしょうか？「妨げにならない」はアルバイト経験者の２割弱にとどまっています。「あまり妨げにならない」程度にアルバイトをしている学生がもっとも多いようですが、「やや妨げになる」と「妨げになる」を合計すると４割近くに上ります。

授業期間中の週平均アルバイト日数



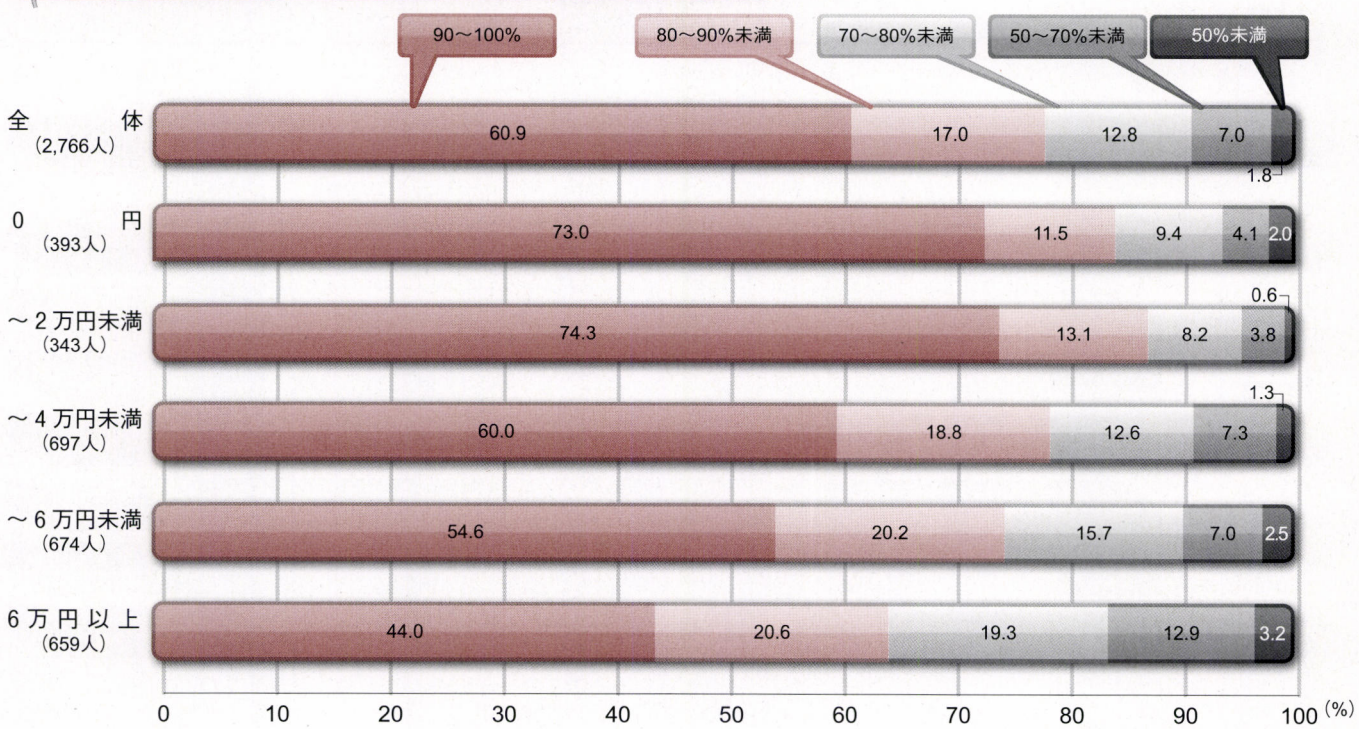
アルバイトは勉強の妨げになっていますか（いましたか）



アルバイト収入と授業出席率との関係を見てみましょう。アルバイト収入が月６万円をこえるあたりから出席率が低くなる傾向が見られます。グラフには示していませんが、アルバイト収入が６万円をこえる場合には、アルバイト日数が週「４日」以上、課外活動に「参加したことがない」比率も高くなっています。アルバイトで月６万円以上の収入を得ようとすれば、大学生活との両立は難しくなってくるようです。

クロス集計

授業期間中のアルバイトの月平均収入／凡例 授業出席率

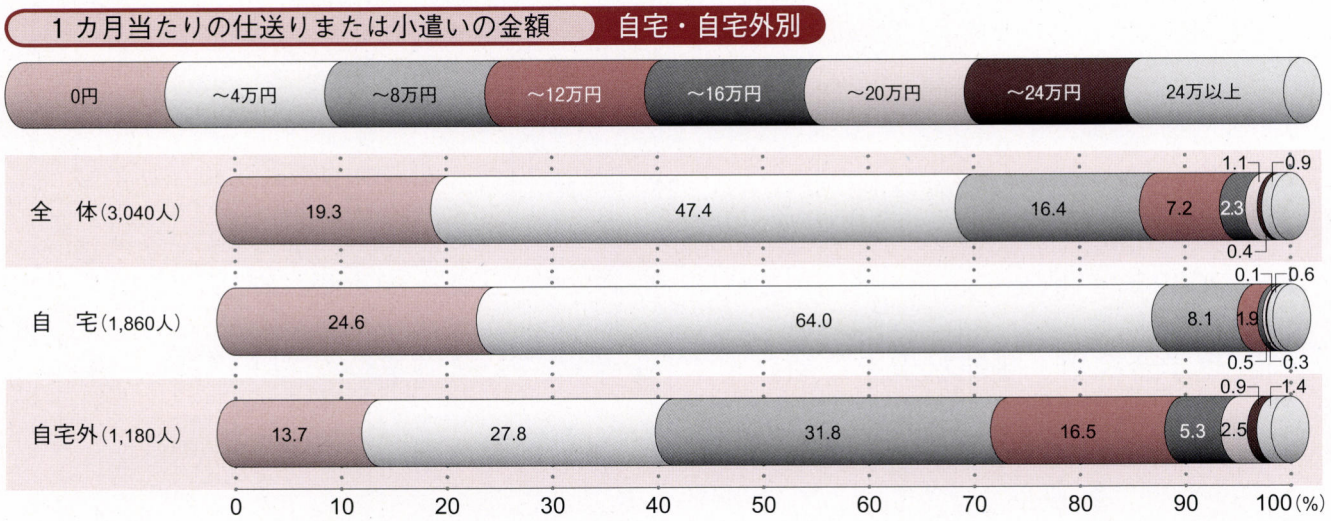


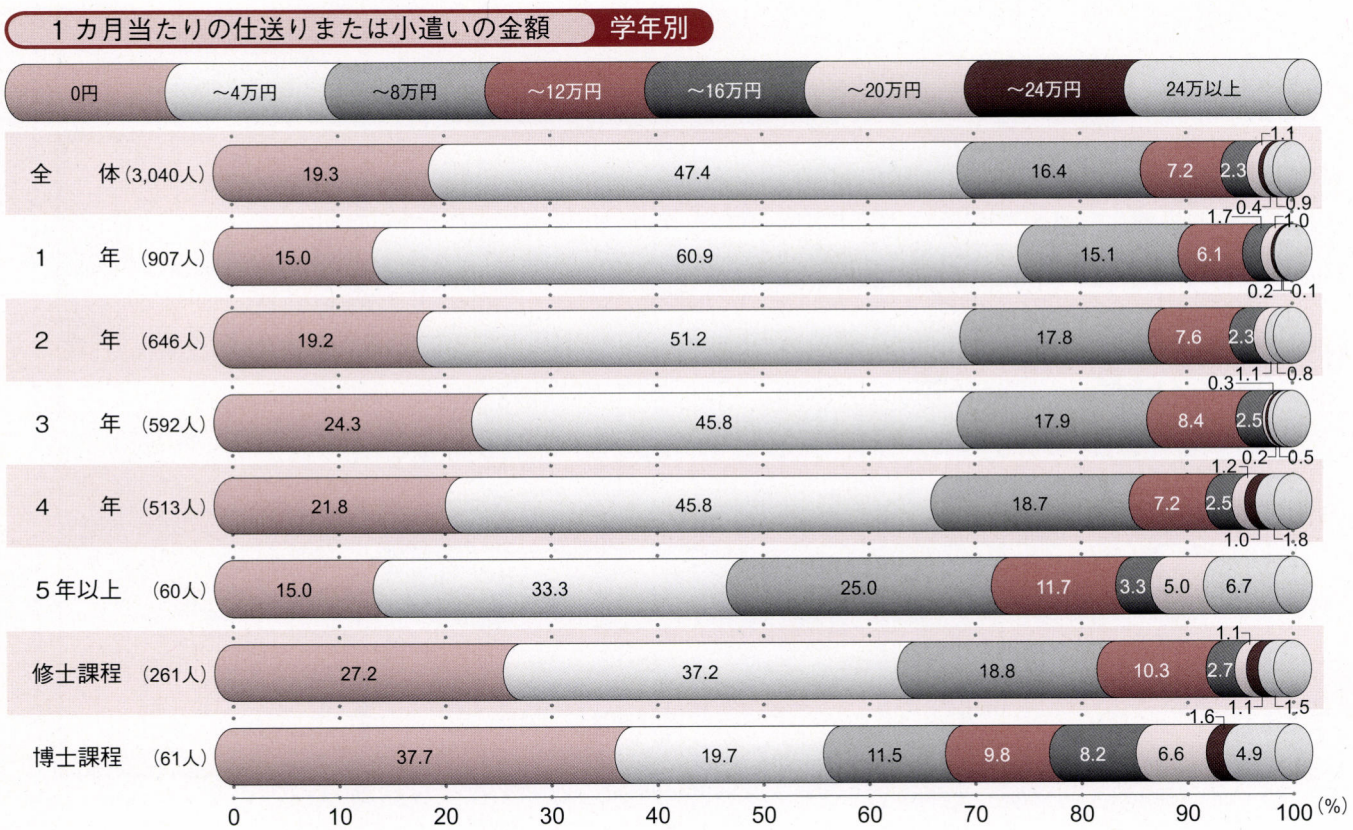
仕送り・小遣いは自宅外でも月8万円未満が大半

仕送り・小遣い

POINT 自宅外で「0円」**13.7%**、「～4万円未満」**27.8%**「～8万円未満」**31.8%**

自宅よりも生活費のかかる自宅外でも仕送り・小遣いの額は８万円未満が８割以上を占めています。これは首都圏私大生の平均仕送り額（９万5700円）（2008年６月、東京地区私立大学教職員組合連合調べ）と比べて低い水準であるといえ、早稲田大学の学生は近親者からの経済的支援に依存している度合いが比較的低いようです。





コラム

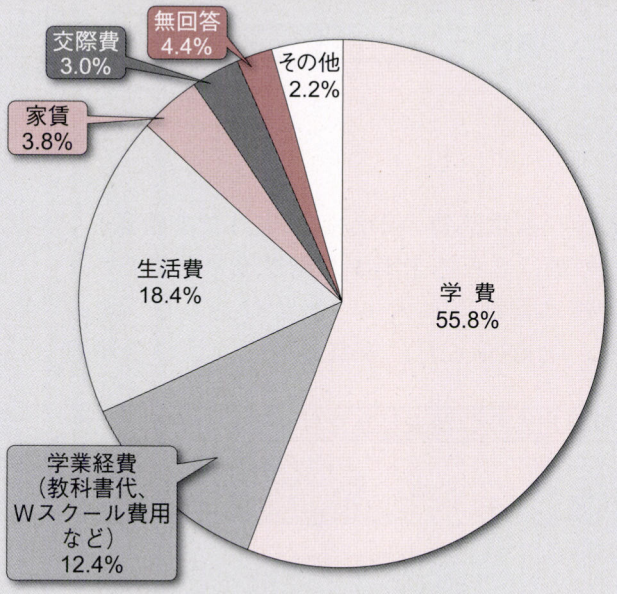
奨学金

この学生生活調査のデータは、2009年6月7日現在のものです。

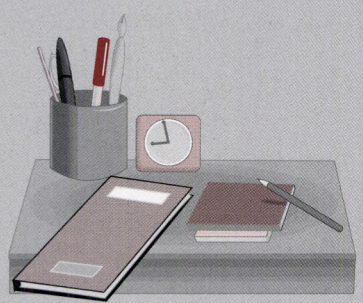
年度ごとの奨学金・新規採用の50%以上は7月1日以降の決定となり、奨学金受給の確定は年末になるため、実数とは異なります。

本調査では、5月時点での結果ですが、奨学金の主な使い道として、「学費」(54.1%)、「生活費」(27.4%)、「家賃」(7.6%)、「学業経費（教科書代、Wスクール費用など）」(6.4%)、「交際費」(1.1%) などがあげられました。

奨学金の使い道（学生生活調査より）



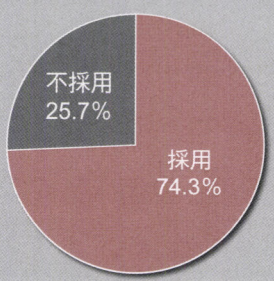
2009年度版Oasis -データ編-より 2008年度の 奨学金採用・受給状況をご紹介



学部 2008年度採用・受給率

新規採用状況（外国人留学生を除く）

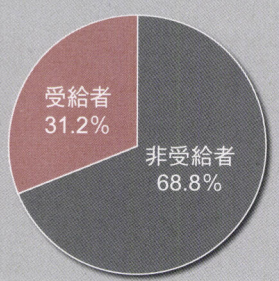
全学年



希望者実数 7,051（在学者数比：17.4%）
採用者実数 5,241（在学者数比：12.9%）
在学者数 40,560

受給状況（継続受給者および外国人留学生を含む）

在学者に対する受給率

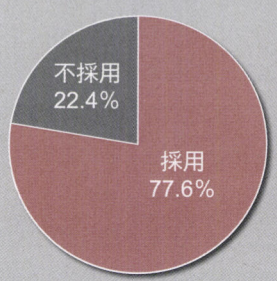


受給者実人数 12,968
受給延べ人数 17,040
在学者数 41,550

大学院 2008年度採用・受給率

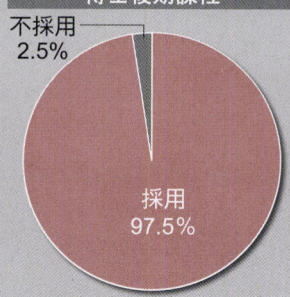
新規採用状況（外国人留学生を除く）

修士課程・専門職学位課程



希望者実数 2,159（在学者数比：40.7%）
採用者実数 1,674（在学者数比：31.6%）
在学者数 5,301

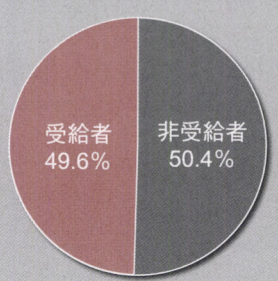
博士後期課程



希望者実数 676（在学者数比：64.5%）
採用者実数 659（在学者数比：62.9%）
在学者数 1,048

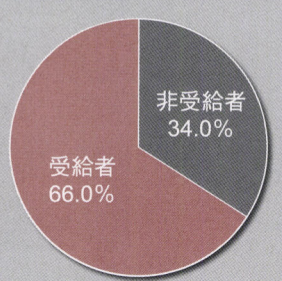
新規採用状況（外国人留学生を除く）

在学者に対する受給率（修士課程・専門職学位課程）



受給者実人数 3,234
受給延べ人数 4,459
在学者数 6,520

在学者に対する受給率（博士後期課程）



受給者実人数 917
受給延べ人数 1,618
在学者数 1,389